

# 私の博物誌

題字 石川進

第三十回

「一石五鳥」③ 趙家の狗

「私は趙家の犬でもいい」と焦がれ、「趙家の狗」の印を刻ろうと思った文人が居られた。最も崇敬する、西川寧博士だ。一九八九年、惜しまれつつ鬼籍に入られたのだが、かいつまんで話そう。

科学博物館を出た後、雨の中を東洋館に向かい、四階の青磁を見て降りた二階での展示が、「趙之謙の書画と北魏の書—悲盦没後130年—」。そして書画・刻印や彼に関わる資料など、百四十四点の展示会場は、ひっそりとしていた。

浙江省會稽に生まれ、南城の知県在職時、五十六歳にて病没した（一八二九—一八八四）文人である。中国では高等官吏登用試験（科挙）があり、隋唐時代からこの制度が創始されて、清朝末までの千五百余年存続し、趙之謙は生涯に五度受験、全て失敗に終わった人だった。受験の必須科目の一つ、書は、当時、王

羲之・獻之親子を中心とする書法の体得が絶対視され、彼もその例に倣っていた。これを帖学派という。

しかし、帖学の資料は、模刻や翻刻を繰り返して、本質との誤差は大きくなっていて、これに危機感を持った向学の士は、官民を問わず輩出し、碑碣から直接採った拓本などを参考とする考え方が拡散する。これを碑学派という。

生涯布衣を通じた鄧完白（一七四三—一八〇五）は、計白当黒を理念とし、野生味横溢の篆隸書を完成。

包世臣（一七七五—一八五五）芸舟双楫を著し、書作の根幹を氣満（氣力を余白にまで浸透させる）という書論を展開、一八〇二年、鄧完白が鎮江を訪れた折に会い、伝授された書法を核とし、独自の研究から「逆入平出法」を創出する。

呉讓之（一七九九—一八七〇）包世臣入室の弟子・逆入平出を墨守、師の包が師と仰ぐ鄧の書法を指標として自らの書を創

る。趙之謙とは、ほぼ同時に生きた人だ。呉昌碩（一八四四—一九二七）書画篆刻に優れ、やはり布衣を通す「石鼓文」を

精習し、独到的境地に辿り着いた人で、この人から日本人も深く関わる。昌碩の門第となった河井荃廬（一八七—一九四五）は、近代日本の篆刻の大家だ。

河井は中国に渡り、昌碩によって趙之謙に関わる情報を得、作品の収集にも奔走し、一大コレクション（悲盦臚墨）を造るも、一九四五年三月十日の大空襲により完全に焼失、彼も亡くなる。

西川は若い頃から河井に私淑し、趙之謙学を学びながら、趙のとりこになっていく。この思いが「趙家の狗」だ。鄧完白の骨太の野生、包世臣の論理的な思考、呉讓之の墨守と加味、彼等の辿り着けなかった理論の実験と実現の陰には、之謙完成の根っ子となつてはいたが、三十六歳で放擲した手法もあつた。

それは、阮元の著した『北碑南帖論』『南北書派論』を読み込むことで、当時の誰もが学んだ帖学の手法だ。後学のもものは、鄧から始まり、「荃廬—寧」という道統に辿り着く。太平天国の乱で妻子を喪い、悲盦、无悶と号した理由は、知る程に言葉を見出すことが難しい。擲義下碑など北魏の楷書の積習の結果、後に呼ばれる「北魏書」はこうして生まれ、現代でもなお書の世界を牽引する。並外れた気性の之謙、それに肉迫した西川寧は「趙家の狗」でもいいという。

三十年ぶりの趙之謙展を見るチャンスを得て、私は改めて書の世界の深奥を想う。そして許されるのなら、「趙家の蚯蚓」でもいい。



書いている人

石川進

いしかわ・すすむ

一九四二年、いわき市平生生まれ。石川紋店代表。家業のかたわら、幼少から書に親しむ。書の世界で培った点・線・面と墨・紙・水の生理を追求し、石刻による印とのコラボによる抽象、具象の絵画表現を展開。書学書道史学会会員。書法探求顧問。

**そのホームページリニューアルしませんか？**

ホームページを立ち上げたもののそれきりになっていませんか？何年も更新されず、古い情報のままでは、宣伝効果もマイナスです。「当時は予算が取れたけれど、今は…」という企業様でもお気軽にご相談ください。ご予算に応じてコーディネートいたします。

- 古い情報のままではマイナスです。
- より多機能に。イメージだけでもOK!!
- ご予算に応じてコーディネートします。

料金等の詳細は、弊社までお問い合わせください

**月刊のいど**

（株）いわきジャーナル  
福島県いわき市鹿島町走熊字小神山29  
（ヤスミツ第1ビル2-A）  
TEL.(0246)29-2424/FAX.(0246)29-2425  
E-mail:read@iwaki-j.net

内科・放射線科・心療内科・消化器科

**本町通りクリニック**

全身用CT検査 院長 園部 清隆(内科・放射線科・消化器科)  
胃内視鏡 もの忘れ外来 副院長 園部 夏実(心療内科・内科)

■診療時間/月・火・水・木・金・土  
AM9:00~PM1:00 PM3:00~PM7:00  
(ただし土曜日は午後5時まで)  
■休診日/日曜日・祝日・第1,3月曜日  
いわき市平字四町目7番地  
☎0246-24-7830【予約診療も可】

**すみのやリウマチ整形外科**

http://www.suminoya.or.jp/  
土曜日の診療時間が 8:30~12:30 に変わりました

整形外科  
リウマチ科  
リハビリテーション科  
デイサービスセンター

いわき市小名浜住吉字冠木1  
TEL.0246-58-1154  
デイサービスセンター TEL.0246-58-1157